

シンポジウム

国際法から見た「無人運航船」
—モノか、フネか、それとも…?—

2021年11月12日（金）15時～17時

笹川平和財団ビル11階国際会議場
（ライブストリーミング形式）

次 第

15時00分 開会挨拶

角南 篤 笹川平和財団理事長

15時05分 基調講演

兼原 敦子 上智大学法学部教授／笹川平和財団評議員

15時25分 パネルディスカッション

パネリスト：

黒崎 将広 防衛大学校人文社会科学群准教授

竹内 真理 神戸大学大学院法学研究科教授

下山 憲二 海上保安大学校海上警察学講座教授

藤本 昌志 神戸大学大学院海事科学研究科准教授

坂巻 静佳 静岡県立大学国際関係学部准教授

コメンテーター：

兼原 敦子 上智大学法学部教授／笹川平和財団評議員

モデレーター：

坂元 茂樹 神戸大学名誉教授／笹川平和財団理事

16時55分 閉会挨拶

阪口 秀 笹川平和財団海洋政策研究所長

登壇者略歴（ご登壇順）



兼原 敦子（かねはら あつこ）

上智大学法学部教授／笹川平和財団評議員

東京大学法学部卒業。国際法学会代表理事。総合海洋政策本部参与。司法試験考査委員（2006-2015年）。南マグロ事件（国際海洋法裁判所、仲裁裁判）日本政府弁護人、南極海捕鯨事件（国際司法裁判所）日本政府顧問。公益社団法人笹川平和財団評議員。国際海事機関国際海事法研究所執行理事および客員講師。米国ハーヴァード・ロースクール、米国ジョージタウン大学法学部、オランダ海洋法研究所（ユトレヒト大学）、ルーヴァン大学（ベルギー）、ライデン大学（オランダ）の客員研究員。



黒崎 将広（くろさき まさひろ）

防衛大学校人文社会科学群准教授

防衛大学校総合安全保障研究科准教授。東京大学大学院総合文化研究科国際関係論博士課程単位取得退学後、オランダ・ライデン大学グロチウス国際法研究所客員研究員、米国海軍大学ストックトン国際法研究所客員研究員、国連軍縮研究所（UNIDIR）外部コンサルタント等を経て現職。国際法専攻。



竹内 真理（たけうち まり）

神戸大学大学院法学研究科教授

神戸大学法学部・大学院法学研究科教授。京都大学法学部卒業、京都大学修士、グラスゴー大学博士。岡山大学助手、准教授、教授を経て、2017年10月より現職。専門は国際法。近時の著作として、『分野別 国際条約ハンドブック（共著）』（有斐閣、2020年）など。



下山 憲二（しもやま けんじ）
海上保安大学校海上警察学講座教授

2000年3月関西大学法学部卒業、2006年3月関西大学法学研究科博士課程後期課程単位取得退学、2006年4月～2007年3月海洋政策研究財団研究員、2008年4月～2015年3月高知県立短期大学で勤務、2015年4月海上保安大学校に着任。



藤本 昌志（ふじもと しょうじ）
神戸大学大学院海事科学研究科准教授

1991（平成3）年3月神戸商船大学商船学部航海学科卒業、同年9月神戸商船大学乗船実習科修了、日本郵船株式会社入社、1999（平成11）年より神戸商船大学助手として海上交通法、海事行政、海事教育などの教育、研究に従事。2005（平成17）年大阪大学大学院法学研究科博士後期課程修了。2007（平成19）年神戸大学大学院海事科学研究科准教授。博士（法学）・一級海技士（航海）。



坂巻 静佳（さかまき しずか）
静岡県立大学国際関係学部准教授

東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了（博士（法学））。静岡県立大学国際関係学部講師を経て、現職。専門は国際法。国際海洋法に関する近著として、「BBNJ新協定の地域漁業管理機関に対する影響」坂元茂樹他編『国家管轄権外区域に関する海洋法の新展開』（有信堂高文社、2021年）等。



坂元 茂樹（さかもと しげき）
神戸大学名誉教授／笹川平和財団理事

琉球大学、関西大学、神戸大学、同志社大学を経て、現在、神戸大学名誉教授。国連人権理事会諮問委員会委員、南マグロ国際仲裁裁判事件日本政府顧問、国際法学会代表理事、国際人権法学会理事長などを歴任の後、現在、日本海洋政策学会会長、日本海洋法研究会会長、公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長、公益財団法人世界人権問題研究センター所長を務める。このほか、海上保安庁の海上法執行調査研究委員会委員長として、日本の海洋政策に関する政策提言を行う。



角南 篤（すなみ あつし）
笹川平和財団理事長

ジョージタウン大学卒業、株式会社野村総合研究所研究員、コロンビア大学国際関係学修士、英サセックス大学科学政策研究所TAGSフェロー、コロンビア大学政治学博士号取得。独立行政法人経済産業研究所フェロー、政策研究大学院大学助教授、同教授、同学長補佐、内閣府参与（科学技術・イノベーション政策担当）、政策研究大学院大学副学長、同学長特別補佐兼SciREXセンター長などを経て、2020年より現職。



阪口 秀（さかぐち ひで）
笹川平和財団海洋政策研究所長

京都大学農学部卒業。京都大学大学院農学研究科農業工学専攻修士課程修了。米国ウィスコンシン州立大学マディソン校留学。博士（農学）。神戸大学農学部助手、オーストラリア連邦科学技術研究機構招聘研究員、理化学研究所特別研究員、東京大学地震研究所客員教授、海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域固体地球動的過程研究プログラムディレクター、海洋研究開発機構理事などを経て、2021年より現職。

